

第2部 記念講演会

「北の大地からのメッセージ キタキツネと遊んだ50年 野生動物が教えてくれること」

日本中を感動の渦で包んだ映画「キタキツネ物語」の“生みの親”（企画原案・動物監督）として知られる竹田津氏。

北海道での獣医師生活、キタキツネとの出会い、傷ついた野生動物の保護、治療、また日本におけるナショナルトラストの先駆けとなった「オホーツクの村」等の活動を紹介しながら、北の大地での自然や野生動物との体験を通して、過去から現在、そして未来へ自然を繋いでいくことの大切さや野生動物が人間に教えてくれることを伝えます。

福岡では絶対体験できない“お話”満載です。自然や動物への温かい眼差しが伝わってきます。

またとない機会です。ぜひ、お越しください。



講師

たけ た づ みのる

竹田津 実 氏

(北海道上川郡東川町在住)

(写真家・エッセイスト・獣医師)

プロフィール



- 1937年大分県竹田津町（現国東市）に生まれる。幼い頃の夢は動物園の園長になること。
- 岐阜大学農学部獣医学科卒業後、学生時代の知床半島でのオジロワシの調査が縁で北海道へ。オホーツク海に面した斜里郡小清水町の家畜診療所で獣医師として勤務。
- キタキツネ等の野生動物の観察の傍ら、治療した野生動物の野生復帰に尽力。映画「キタキツネ物語」の企画原案・動物監督をはじめテレビの動物番組の監督を手掛けながら、写真家・エッセイストとしても活躍。著書多数、各賞受賞。
- また、ナショナルトラスト「オホーツクの村」建設運動を始め、現在に至る。



メッセージ

野生動物は可愛いし、面白い。人間の行動をよく観察している。彼らはまさに人間の鑑だね。自然を愛する人、動物を愛する人、そして子どもを愛する人。お話の中で“何か”を感じていただけたら幸いです。